

議会市民懇談会報告書

平成29年1月18日

山陽小野田市議会議長 尾山信義 様

民生福祉常任委員長 下瀬 俊夫
産業建設常任委員長 中村 博行

平成29年1月18日開催の議会市民懇談会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

- 1 開催日時 平成29年1月18日（水） 10:00～11:30
- 2 開催場所 厚狭複合施設 研修室
- 3 申請団体等名称 厚狭校区婦人会
- 4 参加人数（市民） 24人
- 5 テーマ 市民病院の現状と課題について
地域公共交通（厚狭地区）について
- 6 担当議員名 下瀬俊夫 矢田松夫 石田清廉 小野泰 三浦英統 吉永美子
中村博行 長谷川知司 岩本信子 杉本保喜 松尾数則
山田伸幸
- 7 懇談会次第
 - (1) 開会挨拶
 - (2) 常任委員長挨拶、出席議員自己紹介
 - (3) テーマの報告
 - (4) 意見交換
 - (5) 閉会挨拶

8 意見交換の主な内容

■各委員長からの説明

【市民病院の現状について】

- ・入院患者、外来患者とも昨年度に比べ減少している。予算上の数字にも届いていない。
- ・医師数の目標は30人だが、現在26人。
- ・外来の待ち時間が長く、予約しても待たされるため、呼び出しフォンの貸与を始めた。委員会では待ち時間対策に医師クラークの活用、予約専用外来の設置、総合診療科の設置などを提案している。
- ・市民病院の累積債務は34億円あり、解消のためにも患者を増やす必要がある。

【デマンド交通について】

- ・27年度から厚狭北部、厚狭中部の2路線で運行が始まったが、利用者が少ない。対象地域の人口2,392人に対し、登録者は266人。
- ・山川、山野井地区からも導入の要望がある。
- ・岡山県玉野市のデマンド交通を視察した。利便性も高く、料金も安いので参考にしたい。

■主な意見

(市民) デマンドを利用して厚狭地区から市民病院へ行く方法、例えば乗り継ぎの情報がホームページを見ても分からない。

(市民) デマンドを利用して往復で600円、それから船鉄バスで市民病院まで行くのは料金が安い。

(市民) デマンド交通は予約していなければ席が空いていても乗れないのはなぜか。柔軟な対応ができるようにしてもらいたい。

(議員) デマンド交通は試行中であり、いろいろな意見を踏まえて、これからどうするか議論されるのではないか。出合地区での実施や乗り継ぎの割引など、市民からの意見はあったが、とりあえず試行しているところであり、いただいた意見を踏まえて議会でも議論していきたい。

(議員) 玉野市のデマンド交通を視察した。山陽小野田市にとって良いデマンド交通となるよう委員会でも研究し、執行部に提案していきたい。

(市民) 以前、市民病院まで無料バスが出ていたが、今は無理なのか。

(議員) 市民病院がバスを出していた。厚狭の患者を集めるために努力は必要ではないかと思っている。

(市民) 体調が悪く、市民病院に行ったが対応が悪かった。

(市民) 市民病院は救急を受け入れないと救急隊員が言っていた。

(議員) 病院と市民の信頼関係の問題で、大きな問題である。救急については積極的に受け入れていきたいという病院からの発言もあった。

(市民) 待ち時間が長いのに食堂がない。売店があっても食べる場所がない。

(議員) 売店にカフェを要請したが、断られた。自動販売機のところにスペースがあり弁当等食べることはできる。

(市民) 病院なので、呼び出しフォンの殺菌、感染対策をきちんとしてもらいたい。

(市民) 市民病院に保育所があるが必要なのか。市内の公立保育所を統廃合する計画もあるようだが、市民のためになるのか疑問である。

(議員) 院内保育所は市内の医療従事者が利用できる。女性医師や看護師確保のためにも必要。

(議員) 市民病院の患者減少の原因分析や対策をコンサルタントに業務委託するための予算が12月議会で提案され、可決された。